

基礎数学α 小課題第 20 回

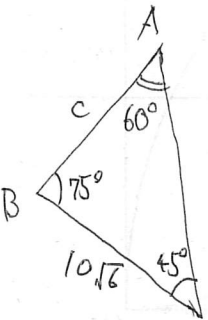
裏面にある略解をもとに丸付けをすること。授業の質問も書いてくれれば回答します。名前等、忘れずにていねいに書いてください！各問題の類題もあわせて示すようにしてみました。例題と節末は教科書の該当する章の例題と節末問題を、14などは問題集の番号を示しています。この課題の問題が解けなかったら教科書の例題に戻って確認、また、試験前には類題(例題の下にある練習問題)も解いてみると良いでしょう。

1年 科 番氏名

1. 次の△ABCについて、次の問いに答えよ。

(1)  $B = 75^\circ, C = 45^\circ, a = 10\sqrt{6}$  のとき、 $c$  と外接円の半径 (2)  $a = 10, b = 10\sqrt{2}, B = 135^\circ$  のとき、 $A$  を求めよ。

R を求めよ。例題 5, 252(1), 253, 節末 6(2)



必ず図を描いておく!

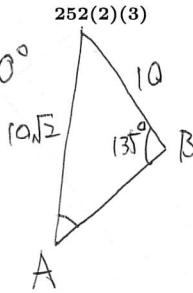
三角形の内角の和は  $180^\circ$  だから  $A = 60^\circ$

正弦定理より,

$$\frac{10\sqrt{6}}{\sin 60^\circ} = \frac{c}{\sin 45^\circ} = 2R$$

$$\begin{aligned} \therefore c &= \frac{10\sqrt{6}}{\sin 60^\circ} \times \sin 45^\circ \\ &= \frac{10\sqrt{6} \times \frac{\sqrt{2}}{2}}{\frac{\sqrt{3}}{2}} \times \frac{1}{\sqrt{2}} = 20 \end{aligned}$$

$$R = \frac{1}{2} \times \frac{10\sqrt{6}}{\sin 60^\circ} = \frac{10\sqrt{6}}{2 \cdot \frac{\sqrt{3}}{2}} = 10\sqrt{2}$$



252(2)(3)

正弦定理より,

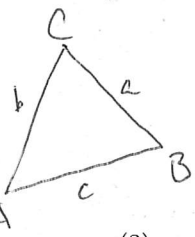
$$\frac{10}{\sin A} = \frac{10\sqrt{2}}{\sin 135^\circ} \leftarrow \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\therefore \sin A = 10 \times \frac{\sin 135^\circ}{10\sqrt{2}} = \frac{1}{2}$$

$$\sin A = \frac{1}{2} \text{ だから } A \text{ は } 30^\circ$$

(ここで、 $\sin 150^\circ = \frac{1}{2}$  だが、 $B = 135^\circ$  より、内角の和  $180^\circ$  を超えてしまうため不適)

正弦定理



$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R$$

(辺の長さ) / (対角のsin)      外接円の半径

(3)  $a = \sqrt{3}, b = 2, C = 150^\circ$  のとき、 $c$  を求めよ。例題 6, (4)  $a = \sqrt{10}, b = \sqrt{2}, c = 2$  のとき、 $A$  を求めよ。例題 7,

254(1)(2), 265, 節末 3(2), 6(1)

余弦定理より,

$$\begin{aligned} c^2 &= (\sqrt{3})^2 + 2^2 - 2 \cdot \sqrt{3} \cdot 2 \cdot \cos 150^\circ \\ &= 3 + 4 - 2 \cdot \sqrt{3} \cdot 2 \cdot \left(-\frac{\sqrt{3}}{2}\right) \\ &= 13 \end{aligned}$$

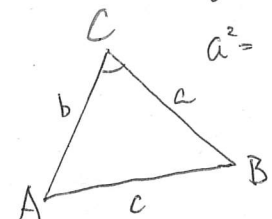
$$\therefore c = \sqrt{13}$$

余弦定理

$$c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C$$

$$b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B$$

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$$



$$-\frac{\sqrt{3}}{2}$$

254(3), 265, 節末 3(1), 7

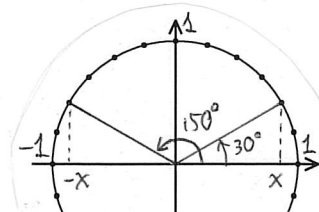
余弦定理より,

$$(\sqrt{10})^2 = (\sqrt{2})^2 + 2^2 - 2 \cdot \sqrt{2} \cdot 2 \cdot \cos A$$

$$10 = 2 + 4 - 2 \cdot \sqrt{2} \cdot 2 \cdot \cos A$$

$$\cos A = \frac{2 + 4 - 10}{2 \cdot \sqrt{2} \cdot 2} = \frac{-4}{2 \cdot \sqrt{2} \cdot 2} = -\frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\therefore A = 135^\circ$$

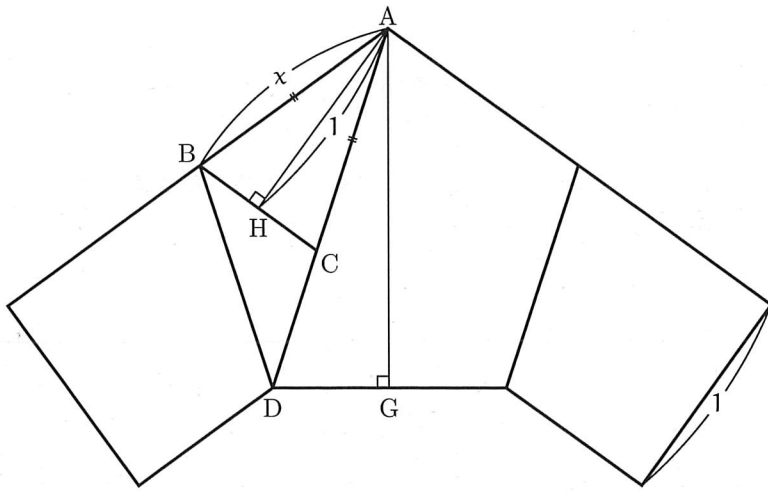


$$\cos 150^\circ = -\cos 30^\circ$$

( $\cos 45^\circ = \frac{1}{\sqrt{2}}$  だから、 $45^\circ$  系だから...  $\cos$  の値が負だから、 $135^\circ$ !)

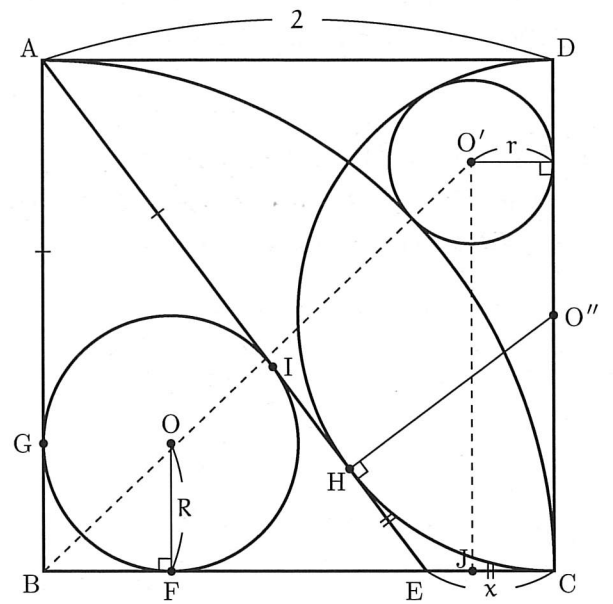
★算額 ヒントと答え

答え:  $\sqrt{\frac{10-2\sqrt{5}}{5}}$  寸



ヒント: 紙の幅 1 寸に対して、正五角形の一辺の長さを  $x$  寸とする。図のように、三平方の定理から、 $BH = \sqrt{x^2 - 1}$  となる。 $\triangle ABH \sim \triangle ADG$  から、 $AB : AH = AD : AG$  となる。ここから、 $\sqrt{x^2 - 1}$  の混じった  $x$  の方程式を得る。これを  $A\sqrt{x^2 - 1} = B$  の形に変形して、両辺を 2 乗すれば、4 次方程式  $5x^4 - 20x^2 + 16 = 0$  を得るが、 $X = x^2$  とおいて、これは 2 次方程式である。これを解いてみよう。

答え: 大円の直径は小円の直径の  $\frac{25}{16}$  倍



ヒント: 大円の半径を  $R$ 、小円の半径を  $r$ 、正方形の一辺の長さを仮に 2 とする。 $\triangle ADO'' \cong \triangle AHO''$  より、 $AD = AH = 2$  となり、 $EC = x$  とおくと、同様に  $EH = x$ 。また、 $AG = AI$  より、 $EF = EI = R + x$  となる。 $BC = BF + FE + EC$  より、 $x = 1 - R$  となることかわかる。直角三角形  $ABE$  に三平方の定理を適用して、 $R$  を求めよう。一方、 $r$  は直角三角形  $BJO'$  に三平方の定理を適用して求められる。

1. (1)  $c = 20$ ,  $R = 10\sqrt{2}$  (2)  $A = 30^\circ$  (3)  $c = \sqrt{13}$  (4)  $A = 135^\circ$